

今年度も引き続き、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は例年以上に数多くの生徒の皆さんが校長室に足を運んでくれ、大会報告や各種イベント案内など、様々なお話を聞かせてくれました。教育活動はもちろん、そうした生徒の皆さんとの談話等も交えながら綴ってまいりますので、ご笑覧いただけましたら幸いです。

One for all, All for one. No.51

### R6. 7. 2 「まちなかキャンパス」

今年も SDG s と深く関わりを持つ教育機関、行政機関、民間企業等の取組が「まちなか賑わいストリート」の各エリアで披露され、多くの市民の注目を集めました。

世代を超えて様々な課題を共に考えたり、地元の良さに改めて触れたり、体験から新しい発見を見出したりと、誰もが豊かで生き生きとした生活を送れるようにと考案された市の象徴的イベントの一つです。



本校郷土部も「アイヌ文化体験」と題して、アイヌの伝統楽器「ムックリ」の作製や演奏手法の紹介、アイヌ文様をかたどった栞づくりや衣装の着用体験など、多くの市民の皆さんに興味・関心を寄せていただきました。今後もこうした取組を通して、アイヌ文化伝承の重要性を広めていきたいと考えています。

過日は「あさひかわ創造都市推進協議会」から有り難いお礼のお言葉も頂戴いたしました。

郷土部は本校を代表する伝統と実績ある部活動の一つです。

より多くの生徒の皆さんに、こうした取組を通して深い感動を体感して欲しいと思っています。

新しい部室も開設しましたので、是非一度足を運んでみてください。勉強になることが山ほどあります。



One for all, All for one. No.52

### R6. 7. 3 「学校祭」



生徒の主体性が存分に発揮される「龍谷祭」を、地域の皆様の多大なご協力のもと、5日（金）・6日（土）の二日間にわたり開催いたします。全校生徒が総力を挙げての創作活動を是非ご堪能ください。

今年度のテーマは『# 青春したい宣言』です。青春だからこそ持てる感情や今しか出来ない活動に全力を傾け、かけがえない仲間と最後までやり抜く強い意思を、多くの皆様に情報発信（#：ハッシュタグに込めました）していきたいとの思いから考案されました。

視覚的に目に映る物、至る所から耳に響く音、心を揺さぶる感動的余韻など、「龍谷でしか味わえない青春」が醸し出さ

れた学校祭となっています。

1日目は旭川市民文化会館での各クラスによるステージ発表、2日目は部活動による各種発表をはじめ、幅広い世代にお楽しみいただけるクラス展示、模擬店、カラオケなど様々な催しを企画しています。

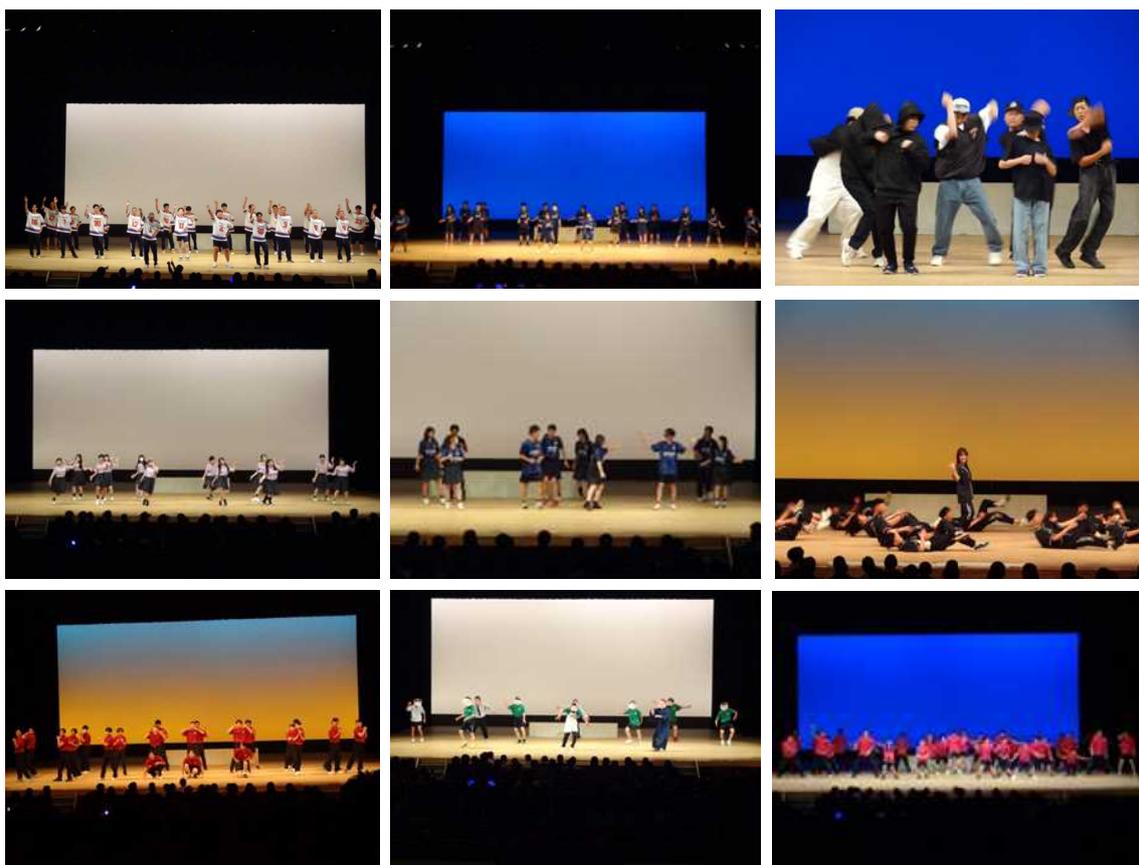
未来を自ら切り拓こうとする生徒たちの斬新な発想と力強い創造を少しでも感じていただけましたら幸いです。

## One for all, All for one. No.53

### R6. 7. 5 「龍谷祭1日目」

1日目は市民文化会館をお借りし、各クラスによるステージ発表を行いました。ダンスが中心ですが、「いつ練習したのだろう」と思わせる程、どのクラスも見事なステージを繰り広げてくれました。自分の出番以外は決められた席で他クラスの演技を觀賞しながら大きな声援をおくっていました。

何より素晴らしかったのは、まだ初々しい1年生の演技を上級生が手拍子や掛け声で盛り上げていたことです、学校祭の楽しい雰囲気を下級生にも味わわせてあげたいという心遣いに思わず胸が熱くなりました。

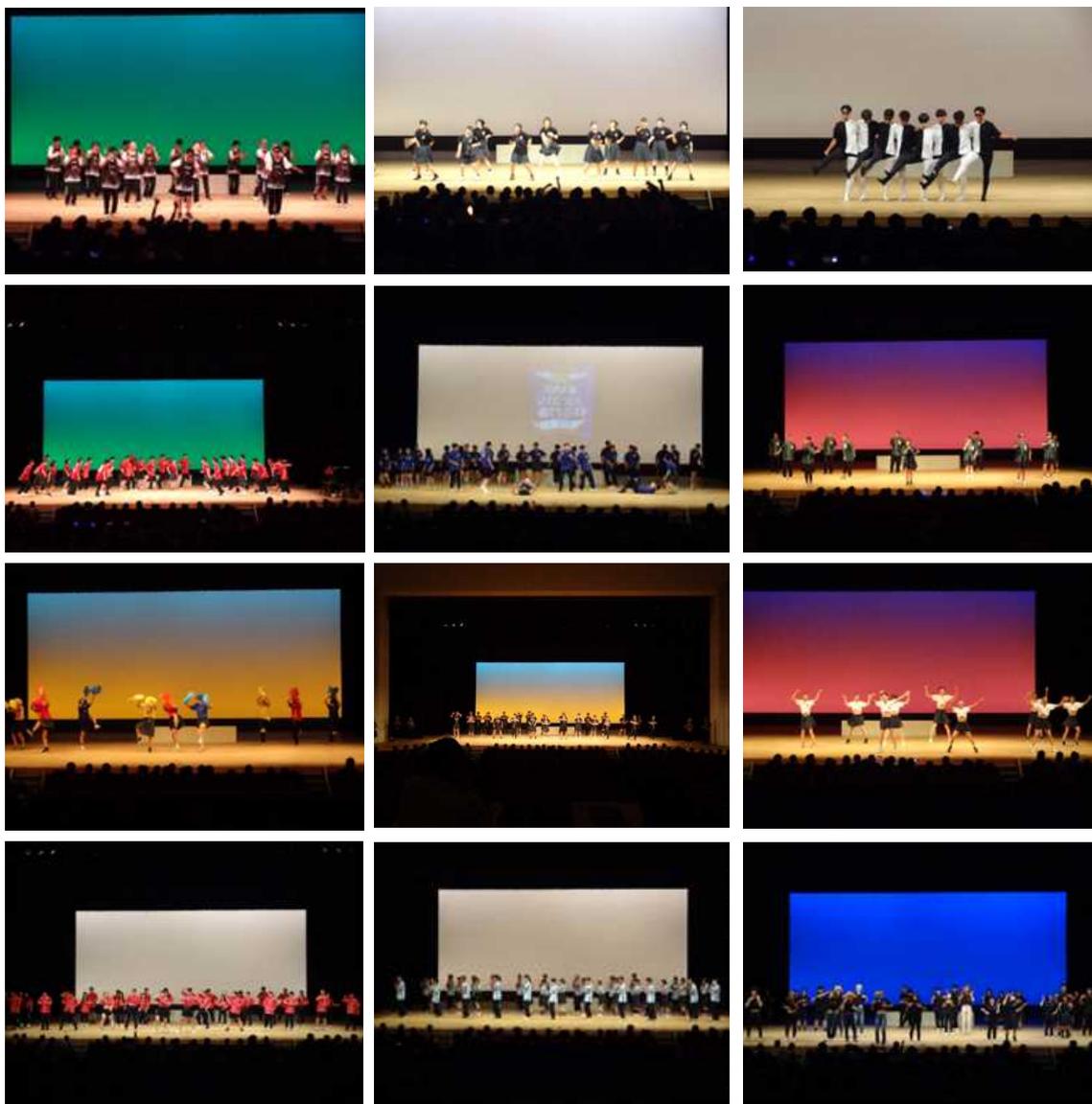


音楽や振り付け、さらに趣向を凝らしたステージに時間を経つのも忘れてしまうほどでした。クラスによっては担任も同じコスチュームで参加しており、生徒に負けじと切れ切れのダンスを披露していました。

生徒同士が日頃の練習の成果を披露し、互いの努力を敬い讃え合う姿を終始見ること

ができ、改めて龍谷生の素晴らしい人間性に感動しました。

また、先輩が後輩に寄り添い、一緒になって学校祭を盛り上げようとする姿は本当に立派でしたし、特に最後の学校祭となる3年生の力が大きかったと思います。



この「THE RYUKOKU STAGE」は歴史も古く、代々引き継がれてきた行事です。年々見せ方もレベルアップし、会場が学校体育館から文化会館に移動したことで動きにも大胆さが加わりました。ステージはクラス別対抗となっており、審査員には学校職員の他、保護者の会役員の皆様、さらには生徒にも自分のクラス以外で投票をしてもらい、総合的に優秀賞が決定されることになっています。





One for all, All for one. No.54

R6. 7. 6 「龍谷祭 2日目」

2日目は一般公開です。やや不安定な天候に心配もありましたが、沢山の皆様にご来校いただき大変賑わいました。足を運んでいただきましたことに心より感謝申し上げます。

この日は、生徒の創造力や表現力を生かしたクラス展示がメインです。幅広い年代が楽しめるアトラクションやゲーム、縁日などが各階に並びました。





校内での「肉巻きおにぎり」や「ポップコーン」などは即時完売の売れ行きだったようです。美味しいものをほおぼりながら、アトラクションや縁日を楽しんでいただいた方も多かったのではないのでしょうか。

またインターアクト部による社会貢献活動に係る取組や、国際交流部のフェアトレードによる発展途上国への協力的取組なども本校の学校祭の特色です。生徒自らができることを考え実践しているところに大きな成長を感じます。



校舎前には各種模擬店が立ち並び、終始長い行列ができていました。食欲をそそる匂いが立ち込める中、来校者や生徒たちの弾むような笑い声があちこちに響き渡ります。

自然と作る生徒の掛け声「いっらしやいませ」にも気合が入っているようでした。

また、体育館では吹奏楽部、合唱部、書道部、ダンス部によるパフォーマンスが繰り広げられ、多くの来校者を魅了しました。文化部の活動の成果を展示した会場では、作品の出来栄えに見入る人や心を癒された人も多かったことでしょう。



### One for all, All for one. No.55

#### R6. 7. 6 「後夜祭」

後夜祭では、部活動によるパフォーマンス、美声ユニット、ダンスなどの素晴らしいステージに加え、吹奏楽と教職員のコラボによる演奏会ライブが催されるなど、会場は歓声の渦となり大いに盛り上がりました。



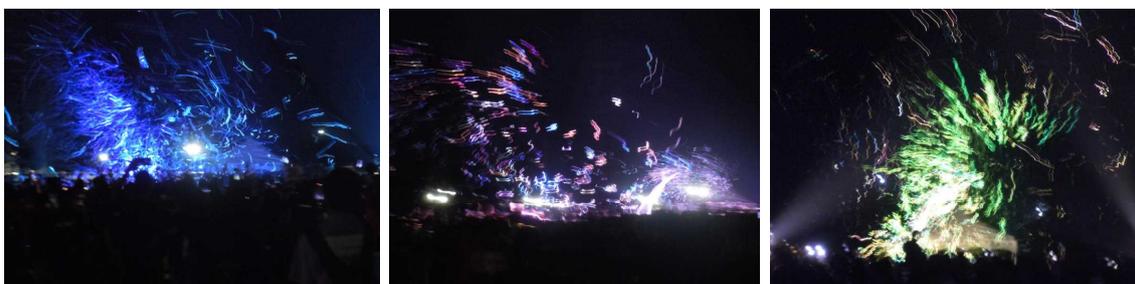
生徒たちの才は多岐にわたり、感心させられるばかりです。歓声が飛び交う中、観衆を

大いに楽しませてくれました。溢れるエネルギーの凄まじさに圧倒されるばかりです。



エンディングは、会場をグランドに移しての「シャボン玉ショー」です。音楽に合わせて、次々に繰り出される大小様々な無数のシャボン玉がカラフルにライトアップされ、幻想的な情景を創り出しました。

生徒もそのあまりの美しさに無言のまま見入っていました。この2日間の楽しい思い出を振り返っていたのかもしれませんが。生徒一人一人が自分の役割を果たし、皆で力を合わせ一生懸命に創り上げた学校祭はとても充実した内容でした。



保護者の皆様をはじめ、地域の皆様方には多大なるご理解とご協力をいただきました。また、お忙しい中、審査員としてご協力をいただきました保護者の会役員の皆様、本当に有り難うございました。この場をお借りし心より厚くお礼申し上げます。

**One for all, All for one. No.56**

### R6. 7. 7 「閉祭式」

閉祭式では、スクリーンに練習風景、クラス展示の準備風景、学校祭当日の様子など、生徒たちの楽しそうな眩い笑顔が映し出されました。表彰式ではクラス名の発表があるたびに一喜一憂の音が響き渡り、感動の余韻とまだ終わりがたくないという名残惜しい表情がとても印象的でした。



生徒会長の竹内 日葵さんから伝えられた熱い思いに全校生徒から大きな拍手が送られました。生徒会総務役員の皆さん、学校祭スタッフの皆さん、本当にお疲れさまでした！

## R6. 7.10 「大学出前講義」

特進コースでは、進路指導の一環として例年「大学出前講義」を実施しています。大学の講義を直に体験することで、その後の明確な進路目標や実現に向け学習意欲の向上を図ることが主なねらいです。

1、2年生が対象となり、道内を代表する大学から前回の講義と重ならないよう各大学にご協力をいただきながら実施させていただいています。

今回は次の大学の先生方にお越しいただき、貴重なお話をお伺いすることができました。

- |        |              |                         |
|--------|--------------|-------------------------|
| ①理系分野  | (北見工業大学)     | 「寒冷地・極地の大気光学現象：その物理と応用」 |
| ②文系分野  | (北海学園大学)     | 「短歌創作ワークショップ」           |
| ③教育系分野 | (北海道教育大学札幌校) | 「教育心理学 ～認知心理学～」         |
| ④医療系分野 | (名寄市立大学)     | 「専門学校と大学の違い ～大学で学ぶ意義～」  |

1年生は、進学希望がまだ漠然としていることから、上記講座から興味・関心のあるものを2つ選び受講しました。

2年生は、ある程度進路の方向性を決めている生徒が殆どですので、一講座に絞っての受講となりました。

大学での研究の雰囲気や直に肌で感じ取ることによって、改めて進路について深く考えるきっかけになったことと思います。

